

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

カーボンニュートラルと防災を軸とした新たな価値を提供するビジネスモデルへ転換し、収益力拡大と企業価値向上を実現

年間賠償・廃炉資金
5,000億円程度

年間利益創出目標
4,500億円規模

JERA CO₂削減
60%以上

② 中長期の経営戦略

1. 福島事業

「3つの誓い」に基づき最後の一人まで賠償貫徹。福島第一廃炉では燃料デブリ取り出しを加速。ALPS処理水は2023年8月から海洋放出開始。第二原発は廃止措置推進

3. フュエル&パワー

JERA中心に燃料調達最適化と供給力確保。2013年度比CO₂60%以上削減目指す「JERA環境コミット2035」推進。bp社と洋上風力統合会社設立

2. 柏崎刈羽原発再稼働

7号機は燃料装荷後の健全性確認完了。6号機は設計・工事計画認可取得、燃料装荷開始。地域との対面理解活動を強化

4. パワーグリッド

レベニューキャップ下で高経年化設備更新。千葉県印西市に超高圧変電所新設。ドローン航路整備で送電設備巡視実現。DX推進でコスト低減

③ 対処すべき課題

① 信頼回復と風評対策

- 原子力事業の不適切事案で毀損した地域・社会からの信頼回復
- ALPS処理水海洋放出でIAEA評価基準合致。情報発信と透明性確保継続
- 国産水産品販売イベント開催や流通促進包括連携で風評被害対応

② 財務体質強化と投資効率化

- 物価・金利上昇でフリーキャッシュフロー悪化。効率的コスト削減推進
- 投資の厳選と事業選択・集中で経営資源を機動的配分
- 燃料調達リスクに対応した供給力確保と電源の計画外停止対策

③ 競争環境と人材・コンプライアンス

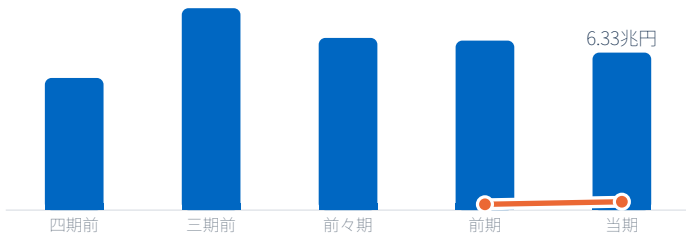
- 小売事業競争激化。2025年度夏季の広域ブロック予備率3%確保も最大限対応継続
- 電力業界信頼を揺るがす事案が発生。社内体制強化と社員教育で法令遵守徹底
- TEPCO Work Innovation推進。ワークライフバランスと快適な職場環境実現

面接で使えるポイント

- 福島復興への責任を全うするため、賠償11兆5,442億円支払い済み。廃炉と復興の両立推進
- カーボンニュートラルへ2035年度までにCO₂排出60%以上削減目指す。水素・アンモニア燃料転換推進
- 2024年度冬季安定供給確保。2025年度夏季も最低限3%予備率確保で乗り切る供給基盤構築

証券コード 9501

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6.33兆円営業利益率
5.3%財務健康度
17点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 58.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
883万円

電気・ガス業内 9位/28社

平均年齢
45.1歳

電気・ガス業内 2位/28社

平均勤続
22.1年

電気・ガス業内 1位/28社

女性管理職
7.1%

電気・ガス業内 8位/23社

男性育休
92.9%

電気・ガス業内 10位/20社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【説明会・採用】東京電力ホールディングス株式会社のご案内

